

広 報



# きかい

No. 511

1

平成22年  
(2010)



the most beautiful  
villages  
in japan

- P 2 年頭のあいさつ
- P 4 年男・年女メッセージ
- P 5 町政懇談会
- P 6 シマの話題その1 (生涯学習推進大会 他)
- P 8 シマの話題その2 (藤原龍太郎君全国でも活躍 他)
- P 9 連載 フリムン徳さんアメリカ通信
- P 16 シマの話題その3 (成人式 他)
- P 17 喜界歌壇・戸籍の窓
- P 18 島に咲く花

## 今年も春からスタートダッシュ!!



### 表紙説明

「一年の計は元旦にあり」

島の正月の風物詩、元旦駅伝に参加した10チーム322人は新春から心地よい汗を流し、絶好のスタートをきることができました。

今年一年が、実りのある年になることでしょう。



# 新年のご挨拶

町行政・教育行政・町議会の代表より

町民の皆様へごあいさつ申し上げます

先人が残した財産を感謝し守りながら

さらなる「うるおいのある島づくり」を

『日本で最も美しい村』に加入し



喜界町長 加藤 啓雄

明けましておめでとうございます。

新しい年を迎え、謹んで町民の皆様のご健勝をお慶び申し上げます。また、平素より町政の各般にわたりご協力賜り、心から感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、八月の衆議院議員選挙での政権交代が大きな出来事ではなかったでしょうか。新政権が発足し早四ヶ月ほどが経過いたしました。事業仕分け作業などが話題を集め、マニフェストの実現に向けて取

業に更なる利益をもたらすものと期待を寄せております。

さて、何と申しましても昨年の一大イベントとして、今世紀最大の天体ショー「皆既日食」がございました。喜界島は有人島で唯一、皆既日食が観られた「奇跡の島」として一躍有名になりました。期間中は大きなトラブル等もなく、観測者の皆様から感謝の言葉を多数頂きました。これも各集落・団体が自発的に「もてなしのイベント」を実施した結果であり、今後の民間による活動活性化のきっかけになるものと期待いたしております。

基幹産業である農業分野においては、サトウキビの今期収穫量が八万トン台前半と見込まれております。豊作だった昨年と比べて約一万吨ほど少ない見込みですが、昨夏の少雨や台風十八号の直撃などを鑑みますと、まずまずの結果であり、地下ダムの効果等も十分発揮されたものと手応えを感じております。

また、二十二年度はスプリンクラー設置の末端工事もすべて完了する予定ですので、今後の農

んですが、オーガニック（有機農業）を意識した農業生産が認められた結果でもございます。先人達の残した功績に感謝しながら、受け継いだ財産を「自信」と「誇り」と共に、守り続けていかなければなりません。

二つ目は、ドラフト会議で美沢将選手が二位指名を受け、本町から二人目のプロ野球選手が誕生したことでございます。喜界島の豊かな自然・伝統・人情が育んだ美沢選手が、今後大きな舞台で活躍することを願う

『あしたも元気な喜界島をめざして』

『豊かな喜界島をめぐって』



教育長 晴 永 清 道

町民の皆様には、希望に満ちた新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

さて、昨年は四十六年ぶりに日本で見られた皆既日食のダイヤモンドリングが喜界島だけで観測でき、日本全国に向けてわ

てやみません。

本年も全国的に厳しい情勢が続くことが予想されますが、将来を見据えながら学校再編問題・行財政改革等を前向きに進め、健全財政実現のため、邁進して参る所存でございます。町民の皆様には、本年も町政運営により一層のご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げますと共に、平成二十二年という年が素晴らしい一年になりますよう祈念いたしまして、新年の挨拶といたします。

が喜界島の情報が発信された年でした。子どもたちは、あの感動の一瞬を一生忘れないことでしょう。

昨年はまた、町内の幼稚園・小中学校の子どもたちが学習やスポーツ活動に自信と意欲をもって力強く取り組んだ年でした。県教育委員会主催の基礎基本（学力）定着度調査では、実施学年の小学校五年の全教科と中学一年の国語・理科・英語、中学二年の国語・社会・理科が県の平均を上まわっていました。荒木小が全国PTA表彰、志

戸桶小と第二中学校が全国環境美化教育優良校表彰、荒木わらび教室が全国表彰、阿伝小が県子ども生き生き表彰、志戸桶小が県優良少年少女団体表彰、第二中が県作文コンクール学校賞、第一中が地区駅伝大会5連覇に輝くなど、文化活動・スポーツ活動でも、『喜界島の子どもやればできる』ことを示しました。

幼稚園では、文部科学省の研究委嘱をうけて、三年間にわたって体力の基礎を培う研究に取り組み、大きな成果をあげました。

社会教育面では、体育・文化的行事の取り組みの他に、県教育委員会と連携して、『訪問型家庭教育相談体制充実事業』を導入し、家庭の教育力の向上などに取り組んできました。本年は総合型地域スポーツクラブの本格実施に向けて意欲的に取り組んで参ります。

さて、本町でも少子化による複式学級をもつ極小規模校の増加や町財政の逼迫などを要因として、幼稚園・小中学校の再編整備について、みんなで考えなければならぬ時代になりました。

昨年、『喜界町立幼稚園・学校規模適正化検討委員会』を立ちあげると共に、十一月に『幼稚園・

小中学校の再編』をテーマに十七集落・校区で町政懇談会を実施してきました。暮れの十二月には『適正な幼稚園・学校の数』について『答申』を頂きました。今年、『喜界町立幼稚園・学校再編整備検討委員会（仮称）』を立ち上げ、再編整備について具体的に検討を進めていくこととなります。検討委員会の答申が出ましたら、改めて、各校区におじゃまして説明会を実施致します。

本年も、加藤町政が掲げる『健

### 「切磋琢磨」

さらなる努力と知恵の結集で課題の克服を



町議会議長 中島 智一

町民の皆様、新年明けましておめでとうございます。

喜界町議会を代表し、謹んで町民の皆様には新春のお喜びを申し上げます。

議長職を拝命し、一年余が経

康で、心安らぐ癒しの町づくり』『ふるさとと自らに誇りをもつ教育』の実現を目指して、『やればできる』を合言葉に、学校教育・社会教育の推進に鋭意取り組んで参ります。

今後とも学校教育、社会教育の推進に町民の皆様が力強いご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

おわりに、皆様のご健康とご多幸を心から祈念し、年頭のごあいさつと致します。

ちました。当初は、議長としてのどのような形で議会運営を進めればよいか毎日が不安でありましたが、町民の皆様および議員各位のお力添えご指導の下、曲がりなりにも職責を務めさせていただきます。

さて、昨年を振り返ってみますと、前半は自民党政権の終末期を迎え支持率低下のまま衆議院選挙が実施しました。その結果、民主党が第一党となり、国民新党および社民党との連立による政権交代が実現しました。

初めてマニフェストを掲げた選挙戦となり、その公約を実現するための平成22年度の概算要求は93億円にも膨れあがりました。国民の反発でその3億円分を圧縮するため、事業仕分け作業でも物議を醸しております。

私たち地方や離島に対する諸問題に対して、どのような形で現れてくるのか、マニフェストで約束した揮発油税の減税や子ども手当など、ぜひ実行してもらいたい項目であります。

数年前から続く経済不況はいつ終わるのか、先が見えない気がします。地方交付税が毎年削られ、若い人たちが働ける職場が少なくなりました。また、少子化が進み、昨年度の町政懇談会では学校統廃合問題が示されました。これは近い将来、避けられない大きな課題といえます。

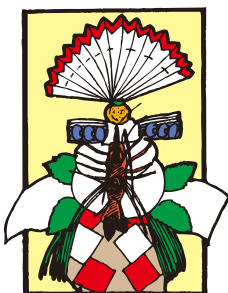
こうしたなかで、本町における農業基盤はある程度確立されてきており、基幹産業であるサトウキビの今期生産量は、8万1千6百トンと見込まれています。昨年10月7日に接近した台風18号では大きな被害はなかったものの、年前半の干ばつが減収に影響しているようです。

畜産農家に目を向ければ、子牛のセリ価格は依然低迷しており、いまだに値上がりの状況が見えない状況にあるようです。

夏場の白ゴマや花き、野菜など合わせ、本町の農業政策および産業政策が加藤町政の指導の下、なお一層の所得向上につながると思っております。

本町は依然として厳しい財政運営を強いられています。山積する多くの課題を克服しなければなりません。行政と議会、町民ともに「切磋琢磨」し、さらなる努力と知恵を出し合い、平成22年度に向かつてがんばりましょう。

町民皆様の益々のご健勝とご多幸をお祈りし、新しい年を迎えるにあたっての年頭あいさつと致します。



# 女の子の 年男メッサージ



## 『還暦に乾杯』



井澤 紀美子 (川嶺)  
(昭和 25 年生)

故郷へ転居して早いもので4年になる。長年の都会暮らしで田舎の生活にとまどう事もしばしばあったがようやく慣れてきた。と思ったらもう還暦。月日の経つのは早いものである。

久しぶりに母の実家に立ち寄りお線香をあげていると、いとこが、欄間にかけてあった木を輪切りにした変形の木片を指し「祖父さんが書いたものなのよ」と。それには、墨書で「無理なく」、「無駄なく」、「油断なく」、「怒るな」、「怠るな」、「驕るな」と人生の訓示を書いてあった。筆に肉づきがあり柔らかでなめらか、とてもいい筆遣い。気性の烈しい祖父であったと母から聞いていたが、とても優しい人であったことは書か

ら想像ができる。還暦を迎える私への心のプレゼンだと感じた。私が中学2年の時、修学旅行から帰ってきた翌日に他界したが、60歳の若さであった。いつも中腰でさらさらと書いていたそう。祖父は、家業を手伝うため師範学校をやめて田舎へ帰ってきたとか。書道習っている友人に見せたところ、なかなかそのような字は書けないという。その友人に掛け軸を頂いた。何か不思議な縁を感じる。

さて、私には島で親しくなった仲間がいる。島じゅうり伝承委員、郷土研究会、校友、職場の仲間、今年ともに還暦を迎える同窓生たちである。昨年は、その一つ、島じゅうり伝承委員では、取材や調理実習を経て、編集作業までメンバーで実施し、レシピ集を発売することができた。

また、郷土研究会の仲間とは、史跡等の写真を紹介しながら研究発表するなど、世代の違う仲間と一緒にチャレンジしていくことはとても面白い。年齢を忘れ、時のたつのも忘れて話し込んだりしてしまふ付き合いが面白い。時々思わぬところで出会ったりするのでもまた面白い。そして仲間や活動の輪が広がっていく。アメリカの絵本作家、ターシャ・チューダーは、森を有する広大な屋敷にコーギー犬と住み、樹木や

季節の花を沢山植え、更に野菜を作るなど、全て自給自足して楽しんでたという。すっかり魅せられてしまった私は、まず家庭菜園を、そして島に帰ってからは、十年計画で屋敷周りに木々や花、野菜、果樹を植えている。成長は遅いが、果樹に花が咲いたと喜び、食べては喜んで。夫の「うまい」の一言が決め手だ。食いしん坊の私は、畑仕事で喉が渴いたら果実で喉を潤している。至福のひとときである。

祖父の心のプレゼントを胸に秘め、東奔西走をしつつ、亀さんのようにゆつくりと、興味のあることに全身全霊を傾けたい。まだまだこれからです。二十五年生寅年還暦に乾杯！

『これでもいいのだ』  
最近ラジオを聴いていて耳にした、故・赤塚不二夫氏の漫画に出てくるセリフです。ラジオではこう続く。「現実には、うまくいかなることばかり・・・」。



清 実隆 (湾)  
(昭和 37 年生)

## 『これでもいいのだ』

いる。自分自身で「これでもいい、大丈夫」と思っている。周囲からみれば全然よくなり、できてない。結局、自分自身の甘さを棚に上げ、納得している時がよくあるのです。

今年私は年男。図体と態度ばかり大きくなり、成長してない自分をリセットするいい機会だ(その年齢になって今頃か?)とお思いでしょうが。今の自分があるのは、自分の力だけではありません。支えてくれている周囲に感謝の気持ちをお忘れずに、甘えるときは少し甘えて、お返しするときはお返ししていきたいと思いたす。

そして、私も家族も、何より周囲の人が「これでもいいのだ」と思えるように。



界 眞子 (湾小5年)

## 『少しでも成長を』

わたしはとら年生まれで、今年小学校最上級生になります。今年の目標は、生活面では早寝早起をする事。運動面では、鉄ぼうや持久走に力を入れて体力をつける事。学習面では、苦手な社会を

すっかり予習復習する事です。小学校最後の一年、友達といっぱい遊び、話し、思い出をたくさん作りたいです。

スポーツ少年団のバレーでは、練習とチームワークを大切にしてお勉強したいです。

幼稚園から始めたピアノや島唄も休まず練習し、ピアノは上手にリズムにのって弾けるように、島唄では新しい唄にチャレンジしていきたいです。

## 『がんばるんよ』



壽 大樹 (阿伝小5年)

今年是最上級生です。学校のリーダーとして、いろいろなことにチャレンジしたいと思います。

一 運動会では、大きな声で応援したり、競技前に下級生を整列させたりします。

二 ドッジボール大会では、昨年の成績を上回るように、みんなをまとめて練習に励みます。

三 学習面では、書き取りを毎日続けることで、小学校で習う漢字を全部覚えたいです。

# 町政懇談会が町内 15 会場で開催

ふるさとの課題について町民と意見交換

『幼稚園・小中学校再編について意見・要望が集中』

今年度の町政懇談会が11月5日、蒲生会場（阿伝小学校区対象）を皮切りに11月27日の城久会場（滝川小学校区）まで、町内の15会場で開催された。各会場での冒頭あいさつで加藤町長は「政権交代により制度のあり方が百八十度変わってきている。国の収入は40兆円未満、各省庁からの概算要求は95兆円。仕分け作業等行なわれているが、先の見えない現状である。本町予算も一般会計・特別会計合わせて約百億円。自主財源は4億、残りの96億は国・県からの財源。地方へのシワ寄せが厳しくなるなか財政の引き締めが課題である。フェリー航路の国補助は今のところ無くなる心配はないが、

耐用年数が近づいているフェリーきかいに代わる新造船導入の体力は奄美海運にはない。学校再編の議論も急ぎたい」などと現在の町政課題について説明した。教育長は、行革プロジェクトチームから「幼稚園再編に関する提言」を受けて学校規模適正化委員会を起ち上げ、一年をかけて検討していることや、学校再編にかかる経費、児童生徒数の推移、学校規模による長所・短所などについても説明した。なお、今年の特徴として、町民からは「学校再編について早急に進めるべき」と、一部条件付きながら前向きな意見が大多数であった。

**Q** 学校再編において地域との関わりをどう考えるか。  
**A** 地域における学校の役割は大きなものがある。しかし、今いる子供たちのことを第一に考えていきたい。跡地利用については皆で考えてよりよい利用をしたい。

以下、各会場ごとに出された主な意見・要望などと、それに対する町長による回答を記載します。  
**Q** 参加者による意見など  
**A** 町当局の回答

## 学校再編に関して

**Q** 子供の教育のことを考えて検討委員会で検討しているか疑問である。真剣に考えてほしい。検討委員会には専門家もいないのではないか。また、小規模校の短所を長所につけないか。  
**A** 教育効果をどこで折り合いをつけるかが問題だと考える。検討委員会には教育の専門家もおります（委員長は元学校長）。また我々も出席して情報の提供等をしている。

**Q** 母校はいつまでも残したい。財政面と地域の親子の意見を併せて考え、検討を願います。  
**A** 時代の大きな曲がり角にきている。学校は地域のためであり子供のためである。母校はいつまでも残したいという気持ちはわかるが、今のままでは成り立たない。志戸桶の地域運動会は盛大である。再編後のあり方の参考になる。教育の専門家、地域住民の意見を聴いて検討したい。

**Q** 総論賛成、各論反対であると思う。学校がなくなることに地域が不安を取り除くことが大事。再編後の施設利用については行政の方でアイデアを出してほしい。  
**A** 百年を超える歴史ある学校ばかりなので感情的にも簡単にはいかならないと思うが、地域でも議論を交わしていただきたい。再編後の空き校舎の利用についても皆さんと話し合い、近いうちに結論を出していきたい。

## その他の課題に関して

**Q** 喜界島の人は飲料水を店で購入している。畜産振興は素晴らしいが、生活環境、地下水の汚染が問題である。対策ができないか。  
**A** 水道事業については東部地区から石灰・亜硝酸性窒素を電気透析により除去している。事業費は簡易水道事業の倍以上かかるが、生活に密着するので他の島々に先駆けて進めている。畜産の問題も含め、地下水を飲料水に利用する南部、西部地区も電気透析事業を推進していく。

## その他の課題に関して

**A** 出水市では誘致したパイオニアやNECが撤退し、地域は大きな打撃を受けた。奄美群島の中でも人口増加の市町村はない中、今年「日本で最も美しい村」連合に本町も加盟した。なんとか島から情報発信をして特産品等で雇用の拡大をしたい。在来農産物加工に取り組む人には町としても補助したい。

**Q** 上嘉鉄、大朝戸・西目、小野津、志戸桶など集落の統合をしたらどうか。  
**A** 他の複数会場で議員定数の減と併せて区長の減について要望があった。多くの町民が要望すれば前向きに検討したい。（議会定数については町当局に決定権はない）

**Q** 診療所の運営状況について聞かせてほしい。  
**A** 従来は地域医療協会から医師が短期間のみ派遣され、旅費等で多くの出費があった。今年度から蘭田先生が赴任して経費も軽減された。また、職員も減らした。

**Q** 学校統廃合は遅いくらいで、子供達のことを考えれば早く統廃合すべき。統廃合の原因となった人口減少を食い止めるためにも企業誘致が

「うるおいのあるまちづくり」を目指して  
～第15回喜界町生涯学習推進大会～

第15回喜界町生涯学習推進大会が平成21年11月29日、町体育館などで開催された。会では、国歌斉唱、町民憲章朗読のあとに加藤啓雄大会会長（町長）があいさつ、中島智一町議会議長が祝辞を述べた。つづいて町へ功績のあった方への表彰があり、教育部門で桐野茂昭さん（教育行政に寄与）、田中働助さん（伝統文化継承に寄与）、佐加涼子さん（ゲートボール普及に寄与）らが表彰を受けた。

次に、別会場に移動して分科会があった。青少年教育、まちづくり、健康、文化活動、環境、産業など6分科会に分かれ、事例発表や質疑応答などがあり、新たな分科会テーマも決定した。

その後、町体育館に戻り、



第1分科会の様子



がん予防について講演する森谷教授

京都大学大学院の森谷敏夫教授による『がん』は、どれくらい予防できるのか』と題しての講演会があった。

森谷教授は、人体に必要であるが多すぎると細胞に損傷を与えガンを誘発する「活性酸素」と、余った活性酸素を除去する「抗酸化物質」を紹介



アドゥム（杵）を手にイトウ（作業唄）を披露した荒木小の児童たち

介したビデオを上映。これを踏まえ「ガンの原因の65%は口から入ってくる」と指摘し「遺伝はあまり関係ない。良くも悪くも親の生活習慣や食生活が子へ影響する」「タバコはビタミンCや細胞を傷つけ、副流煙はフィルターを通ってないので吸っている本人よりも周囲に悪影響」「適度な運動と正しい食生活がガンを予防する」などと訴えた。

講演後は、アトラクションとして喜界島民謡同好会や喜界島太鼓のメンバーらがそれぞれの演目を舞台発表し、大会に華を添えた。

\*\*\*  
なお、今大会の開会に先立ち、第二中の3年生らが『学校に行けない世界の子どもたち』と題して、同じ時代に生きる同世代の見知らぬ友人たちに想いを馳せながら、劇を通して「今を精一杯生きる」ことの尊さを訴えた。

日本の中学生を演じた岩崎翔吾君は「テレビゲームをしながら『死ぬね死ぬね』と言う場面では嫌な気分がした。アフリカの少年兵を思うと悲しくなった」と振り返った。

劇について、  
世界には学校に行きたくて

も行けない子どもたちが、約7500万人も存在し、半数はアフリカに住む。理由は、紛争や食糧不足、児童労働、感染症などさまざま。

【ストーリー】  
登校の支度を親にまかせ、遅刻を理由に「車で送って」と甘える日本の中学生。かたや一日3回、3kmの道のりを赤ちゃんを背負って20kgの水を運び、その合間にも洗濯、魚売りなどの労働に追われるアフリカの9歳の少女。他にも、勉強もそこそこにテレビの戦争ゲームに興じ、たまった宿題を放り出す日本の中学生と、対照的に、ゲームではなく実際の戦場で人を殺す訓練を強制されるなか、心を失う誘拐された少年兵、フランスのボランティアが運営する移動教室に行き、自分の名前が書けるようになってきたと喜ぶ少年など、アフリカの子どもたちが描かれる。

名前が書けたことを喜ぶその少年は、病気で死んだ妹たちを想い、また、村の食糧不足を解消しようと医者か農業技士になるため、フランスへ行き勉強することを決意する。



堂々と演じきった二中の生徒たち

さつそく少年は、300km離れた空港へ弟とともに徒歩で向かい、水たまりの水をすりながら6日間かけてたり着く。そして何とか飛行機の貨物室に潜り込むことに成功し、これから勉強できることへの喜びと期待を胸にフランスへと飛び立つ。貨物室は空調や気圧調整が充分でないことも知らずに・・・。

2001年、パリ・ドゴール空港。ある飛行機の貨物室から、肩を寄せ合う二人の少年が発見された。まるで生きているかのような、希望に満ちた表情の二人の首にはカードが掛けられており、そこにはたどたどしいフランス語で、こう書かれていた。  
「誰か僕たちに勉強を教えてください」

## 09 / 10 製糖期始まる 生和糖業で原料輸送出発式 今期収量は1万ト減の8万トを予想

生和糖業株式会社（赤松幹雄社長）は12月16日、今期の製糖を開始し、同日朝には同社敷地内で原料輸送出発式がJAあまみの主催であった。

出発式には嶺禎一郎 JAあまみ専務理事の他、赤松社長や加藤啓雄町長、慶田孝奄美警察署喜界幹部派出所長、清水亮児喜界運送社長らが出席した。

式では嶺専務理事が今期の生育状況などを報告。加藤町長や赤松社長らの来賓あいさつの後、慶田所長はキビ運搬時の安全を呼びかけ、特に「飲酒運転は二日酔いでも該当する。家族はもちろん会社にも多大な迷惑を掛けるので絶対やめよう」と訴えた。それに応じて、喜界運送の清水龍一さんが期間中の安全を高らかに宣誓した。

初日の搬入量は約700ト。今期の収穫量は約8万トの予定で、昨期より1万トほどの減収となる。その理由を町産業振興課は「6月の梅雨には平年以上の降水量があったが、4月下旬から5月上旬の干ばつと低温、7月から9月の干ばつの影響が大きい」と説明する。

関係機関が推進する「増産プロジェクト」の浸透で株出面積が



次々と搬入されるサトウキビ

拡大したことにより、収穫面積は約70ヘクタール増の1,267ヘクタールとなった（1ヘクタールと1町歩はほとんど同じ）。生和糖業では、4月5日までの操業と予定している。



関係者によるテープカット

## 園・学校規模適正化検討委が 晴永教育長へ答申

町内の幼稚園及び小中学校の適正規模などについて、町教育委員会から諮問を受けていた町立幼稚園・学校規模適正化検討委員会（村上國信委員長）は12月16日、晴永清道教育長へ答申書を提出した。

同委員会は町内の各種団体およびPTAの代表者や公募により委員を構成し、昨年5月から検討を重ねてきた。

答申では、少子化が急速に進んでいる現在、小規模校ではグループ学習や体育の集団競技な

ど、多様な学習活動が困難となつていくことを指摘したうえで、学校の適正規模について、幼稚園・小学校では学習だけでなく集団生活のなかで社会性を養うことも目的であるとし、幼稚園は1学年複数級以上、小学校は1学年2学級規模が望ましいとした。また、中学校では学校規模が学習環境に与える影響が大きく、個性や自主性を伸ばすためには部活動などでの複数の選択肢確保、さらに全教科の免許所有教員確保、主要教科の

複数教員配置要件も考慮して1学年3学級が望ましいとした。これらを踏まえ各委員の意見を集約した結果、望ましい学校（園）再編数は次のとおりとした

- ・幼稚園は2〜3園に再編
- ・小学校は2〜3校に再編
- ・中学校は1〜2校に再編

他にも、学校を再配置する際は、通学の距離や時間、地理的条件を十分考慮し、通学への精神的、経済的負担に配慮すること。学校は地域の文化的拠点

であることを考慮し、再編後の校舎等の有効活用について検討し、引き続き地域の新しい産業・文化の拠点となる施策が必要などの提言もなされた。

答申を受けて晴永教育長は「早急に、幼稚園・学校再編整備検討委員会（仮称）を立ち上げ、再編後の設置場所や学区の案を広く町民へ提示し意見を聞きたい」と話した。

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
湾	293	286	302	299	298	285	268
上嘉鉄	38	35	30	32	32	27	26
坂嶺	9	11	10	13	13	11	15
荒木	36	35	34	28	22	21	20
滝川	12	10	10	9	11	6	7
早町	45	41	39	34	30	27	22
志戸桶	56	51	46	43	36	34	33
小野津	18	18	20	16	13	17	16
阿伝	17	12	10	9	12	10	7
計	524	499	501	483	467	438	414

	21年度	23年度	25年度	27年度	29年度	31年度	33年度
第一	177	170	176	184	151	164	139
第二	24	24	13	18	14	9	10
早町	54	68	68	61	47	40	35
計	255	262	257	263	212	213	184

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
湾	86	96	95	98	96
上嘉鉄	10	7	9	9	8
荒木	11	9	5	7	4
滝川	3	2	2	2	1
早町	10	13	10	12	8
志戸桶	15	13	10	8	9
小野津	6	4	3	5	7
計	141	144	134	141	133

### 荒ホチームが大会4連覇 ～喜界町わんぱく相撲大会

第12回喜界町わんぱく相撲大会（上嘉鉄場所）がこのほど、上嘉鉄地区センターであり、未就学児と各小学校から128人が個人戦と団体戦に参加、日頃磨いた技を競った。

団体戦は14チームが参加するなか荒木Cが優勝。見事に4連覇を飾った。個人戦の各学年優勝者は次のとおり、

- 【未就学児】勝 本 亮 太（湾 幼）
- 【小1】中 山 海 士（志 小）
- 【小2】照 賢 将（荒木小）
- 【小3】米 田 健 人（志 小）
- 【小4】麓 謙 太郎（湾 小）
- 【小5】生 田 直 己（上 小）
- 【小6】藤 原 龍 太 郎（早 小）

なお、技能賞に久保愛莉（荒木小）、敢闘賞に登聖佳（志小）、技能賞に米田康人（志小）がそれぞれ輝いた。

町相撲連盟の榮雄太さんは「岩崎大雅君は足腰が



年々レベルが上がるわんぱく相撲

強く、全国レベルの藤原龍太郎君を苦しめて将来が楽しみ。瀧崎日和さん（志小）は男子に負けない相撲を取っていた」と話した。



気は優しくても土俵では勝負師の目

第21回全日本小学生相撲優勝大会が12月6日、東京・両国技館であり、6年生の部で藤原龍太郎君（早小）がベスト8入りの活躍をみせた。一回戦は、東北代表の鈴木蓮選手に立ち会いからの電車で選

一昨年5月、国際相撲連盟の要請で、アフリカのガボン共和国へ相撲の普及を目的に渡った倉橋憲司さん（志戸桶）が昨年10月、ポーランドでの大会（ポーランド・オープン）に出場した。この大会は日本・ポーランド国交樹立90周年を記念して開催され、他にロシアやグルジア、ブルガリアなど、相撲をはじめ日本の武道が盛んな東ヨーロッパの国々も参加した。



土ではなくマットの土俵

導や授業に参加して生徒の質問に答えるなどした。生徒らは遠い東洋の異国から訪れたスモウレスラーに興味津々。「サッカーとどっちが面白い？」など質問



国際親善にも貢献した倉橋さん（中）

### 倉橋憲司さん アフリカ・ガボンに続きポーランドへ遠征！

い、惜しくも初戦敗退であった。倉橋さんは「骨格とパワーが日本人とは段違い」と舌を巻いた。大会の他にも、首都ワルシャワの中学校を訪問し、相撲の指

### 藤原龍太郎君 全国の舞台でも 大活躍!!

る。ポーランドだけでなく、世界的に相撲が普及されれば」と手応えを感じていた。



大会パンフレット

し、細かいメモを取っていたという。倉橋さんは一言も葉は通じなくて肌を合わせれば分



プロが立つ土俵で堂々の白星！（右）

引率した倉橋憲司監督は「技術や経験の差があるが、体格や力は負けていない。常に大勢の中で採まれている他地区の選手にも引けを取らない」と振り返り、高校相撲の強豪である埼玉栄高校の監督からも健闘を称えられたという。大会を振り返って藤原君は「初めての国技館に緊張したが、瀬玉会をはじめ東京喜界会や親戚の声援が力になった。全国のレベルは高く、メダルが取れない悔しさで涙が止まらなかった。この悔しさを次につなげ、もっと練習したい」と決意した。





## 『ひとり寝の子守唄』

「徳さん、あと一週間でんなあ。何がやって？ 決まっているやおまへんか。社長さん、早よう、帰って来はったらええなあ〜」。先週の『気まぐれ歌の旅』（サンフランシスコラジオ毎日放送）で二川さんが、ひとり身の徳さんに「ひとり寝の子守唄」をプレゼントしてくれた。

ひとりアメリカに取り残された徳さんはひとり身の生活に、寂しい悲しい思いで難儀していた。まず苦労したのは、料理の献立である。「今日は何を食べようか」、カレーライスにするか、インスタントラーメンにするか、残りご飯をマイクロオーブンでチンして梅干しで食べるか。アメリカのマーケットで売っているハンバーガーやスパゲティーなど、洋食のインスタント料理はこの数年で食べたくなくなった。「年をとると昔の食べ物に戻る」。本当のようである。

「今日は何を食べようか」と嫁はんが友達との電話の中で話していた言葉が蘇ってきた。女の人達の料理の献立を考える苦労を考えたこともなかった。徳さんの作れる5つ6つほどのレシピで1ヶ月の料理の献立を考えるのは、エッセーのネタを探すように難しいと思った。他人の嫁はんには口に出して言えるが、自分の嫁はんには口に出して言いにくいこの言葉、「嫁はんという職業はえらい」。難儀な言葉でんなあ。それと、ひとりで食べる料理のなんと味気ないこと、まずいこと。お腹がすいていても美味くない。気の合った者と一緒に食べるうれしさが、料理をおいしくすることが身に沁みてわかった。

嫁はんは10月初めに、日本へ帰って、もう3週間が経つ。あと一週間でアメリカのわが家に戻ってくる。還暦の祝いのために喜界島へ帰っている。還暦になったら喜界島にある3つの中学校の同級生は世界中どこに散らばっていても一堂にはせ参じる。ただの集まりとちゃいまっせー、『はせ参じでっせー』。喜界島で還暦祝いをするのが慣わしとなっている。それが、そんじょそこの祝いではない。もうこれは祭り以上にウキウキし、興奮する『感激物語』である。喜界島の中学校を卒業して東京、大

阪、外国へと飛び立ち離れ離れになった同級生と数十年ぶりに会って、涙を流しながら、シマユミタで語り合い、抱き合う日なのである。

『気まぐれ歌の旅』の二川さん！ 飼い猫のフリムン太郎を無理やり抱いて寝るが、逃げられてばかりだった。猫を抱いて寝る徳さんを想像してみなはれ。「あっ、徳さんが猫を抱いて死にかけている。かわいそうやなあ！」でっせー。そんな時の「ひとり寝の子守唄」のプレゼントは極上の慰めでした。二川さん、おおきに、おおきに、有難うございます。うれしかったです。

選曲もよかったです。放送中に我が愛する故郷の「喜界島」という言葉が流れた時、喜界島の懐かしい風景が目には浮かびました。「この懐かしい喜界島の風景の中に、今、ワイの嫁はんはいてまんね」。サンフランシスコ、サンノゼ方面の何千人の人が聞いているラジオ放送でのプレゼント、「元酔っ払いの大工のフリムン徳さん」にはもったいないほどうれしいことです。これで徳さんは喜界島の宣伝係長に立候補できるかもわかりません。

二川さんの人情も身に沁みましたが、もうひとつ身に沁みたまものがある。いつも何かと文句を言っている嫁はんがいない、ぼやいている嫁はんがいない、キッチンで何やガチャガチャと音を立てている嫁はんがいない、掃除機の音を立てている嫁はんがいない、どこかで音を立てている嫁はんがいない。うるさくなくてよさそうにも思えたが、ただ静かで、時間だけが空しく過ぎていくようで、過ぎていかない家は、寂しくて落ち着かない。嫁はんが作る雑音、騒音、ぼやき、文句は「家の中の子守唄」だったことを発見した。

連れ合いを亡くした高齢のひとり身の生活は、寂しいこと、辛いこと、悲しいこと、そして難儀なことや。人間は年をとってからこそ話し相手が要る。周りのアメリカ人の年寄り連れ合いを亡くすと、すぐに相手を見つけて、一緒に住む。「もう少し時間を置いてから見つけてもいいのに」と思っていたが、それは間違いというものやった。うちの教会のメンバーのおじいちゃんやおばあちゃんも、結婚はしていないが、二人で一緒に住んでいる人は多い。結婚したら、死んだ時に、お互いの財産のことで、子供達が争うから、結婚はしないそうや。

今はやりの“若い人が結婚しないで同棲する”、ええやおまへんか。アメリカの連れ合いを亡くした年寄りには同棲は当たり前のようや。

それにしても、年寄りには話し相手が必要であることが、いかに大事かということ思い知らされた一ヶ月間やった。これからは朝晩嫁はんを拝み倒して、大事にしようと思ってるまんね。トットガナシ、ウヤフジガナシ、トットガナシ、ユムィ(嫁)ガナシ！！

# アリモドキ情報!!



## アリモドキゾウムシ標語・ポスターコンクール審査結果!

喜界町内の小学生を対象に標語・ポスターコンクールを開催しました。

夏休みに作成していただき、応募は標語が154作品、ポスターが97作品でした。

どの作品もすばらしく、10月に審査を行った結果、最優秀賞各1名、優秀賞各3名、奨励賞各5名（新たに賞を追加）の方が入賞され、学校賞（全校生徒数に対して50%以上の応募）は標語が7校、ポスターが5校入賞されました。

最優秀賞は、滝川小学校4年の服部萌さん（標語部門）と同校4年の東龍之介さん（ポスター部門）が受賞され、12月2日（水）に会長（加藤町長）から賞状の授与が行われました。多くの方々に応募していただき、大変ありがとうございました。

最優秀賞と優秀賞の作品については、まとめて大きなポスターにし、町内外に掲載します。



加藤啓雄町長から表彰を受けました

ポスター部門最優秀賞  
東 龍太郎さん（滝川小）



守ろう島の食べもの 残そう島のサツマイモ  
やっつけようアリモドキゾウムシ

標語部門最優秀賞

服部 萌さん（滝川小）

### ◎入賞された方々 （標語の部）

優秀賞 上嘉鉄小5年 岩越 海闘さん  
" 上嘉鉄小5年 澄 慶宏さん  
" 志戸桶小3年 辰巳 義也さん  
奨励賞 湾 小3年 峯元 将行さん  
" 阿伝小6年 竹下 日菜さん  
" 阿伝小1年 奥 洸さん  
" 志戸桶小5年 登 聖佳さん  
" 志戸桶小2年 榮 暖さん  
学校賞 上嘉鉄小、坂嶺小、荒木小、滝川小、  
志戸桶小、小野津小、阿伝小

### （ポスターの部）

優秀賞 湾 小5年 柳 美羽さん  
" 坂嶺小3年 岩松 大和さん  
" 阿伝小1年 酒井 拓人さん  
奨励賞 湾 小3年 小窪 海渡さん  
" 湾 小2年 吉行 いく海さん  
" 坂嶺小5年 久保 海斗さん  
" 阿伝小2年 政井 大輝さん  
" 志戸桶小6年 榮 優真さん  
学校賞 坂嶺小、荒木小、滝川小、  
小野津小、阿伝小

※お願い

徐々に気温が下がり、アリモドキゾウムシの活動が鈍くなっています。そこで、この時期にアリモドキゾウムシの発生源を把握し、防除に役立てるため、12月に右写真の杭をノアサガオの群落やサツマイモ畑に多数立て、1月にトラップを設置する計画です（2月には撤去します）。

つきましては、トラップの設置に際して町民の皆様方の御協力をお願いします。



トラップ設置用の杭

問い合わせ先：喜界地区アリモドキゾウムシ防除対策協議会 喜界町産業振興課 ☎ 65-1111  
大島支庁農政普及課特殊病害虫係 ☎ 0997-52-0299

**鹿児島県内離島の  
期間限定  
アンテナショップ出現!**

無料  
駐車場あり

会期 平成22年1月14日(木)～1月24日(日)11日間

午前10時から午後4時まで

会場 〒892-0814鹿児島市本港新町3番地  
北埠頭ターミナル2階(かごしま水族館の奥)

TEL099-227-0111 FAX.099-227-0112

NPOゆめみなと鹿児島/南の島々を輝かせるプロジェクト事務局



試飲・試食・実演販売多数!



冬の味覚(春一番の味覚)を22  
市町村より生産者が産地直売

喜界島の特産品  
その他加工品の販売



写真は参考資料です。

島唄や踊り  
ステージあり

平成21年度地方の元気再生事業

教育委員会活動の点検・評価報告

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律（平成20年4月1日施行）」の一部が改正されました。各教育委員会は、毎年その教育行政事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、町民の皆様へ説明責任を果たすことになっていきます。

本町は、12月10日の議会で提出・報告をしました。町教育委員会では、12項目の重点課題の中から、本年度は、「基礎学力の定着・向上の取組」「児童生徒の体力向上の取組」及び「生涯学習充実の取組」を対象テーマとしました。

教育行政評価会議と町教育委員会教育委員による評価の結果、「基礎学力の定着・向上と体力向上の取組は、一定の成果を挙げているようなので、今後指導方法の改善等、充実させてほしい」「事業の評価が細やかな

ので、継続して評価してほしい」等の意見が出されました。今後も町民の皆様の見解を参考にしながら、充実した事業を進めてまいります。

平成21年度「第1回豊かな心を育てる読書大賞（前期）」表彰式

11月21日（土）に平成21年度「豊かな心を育てる読書大賞（前期）」の表彰式が喜界町役場多目的室で行われました。

読書活動は、子どもが「言葉を学ぶ」「感性を磨く」「表現力を高める」「創造力を豊かなものにする」等、豊かな心を育てるために欠くことのできないものです。そこで、喜界町教育委員会では、子どもの豊かな心を育てるために、本年度より「豊かな心を育てる読書大賞」を新設しました。

内容としては、「多読者の部」と「読書感想文コンクールの部」があります。

「多読者の部」は、前期（4月～9月）に、喜界町内小1～中3までの児童・生徒を対象に、喜界町図書館や、学校図書館、各学級文庫で借りた本の個

人の総数を各学校で集計しました。そして、喜界町教育委員会に提出してもらい、各学年の中で、最も本を借りた子どもを「多読者」としました。

「読書感想文コンクールの部」は、4～8月までに児童・生徒が書いた読書感想文について審査を行い、各学年の最優秀賞を決定しました。

受賞者は左記の通りです。

【多読者の部】

- 小一 宮里 優花（小野津小）
  - 小二 山崎 晃士朗（湾小）
  - 小三 眞方 夏菜（湾小）
  - 小四 高田 彩香（湾小）
  - 小五 豊田 裕美（湾小）
  - 小六 池田 端穂（小野津小）
  - 中一 濱川 光太郎（第二中）
  - 中二 廣司 靖乃（第二中）
  - 中三 前島 智美（第二中）
- 【読書感想文コンクールの部】
- 小一 保科 果南（阿伝小）
  - 小二 竹山 奏（湾小）
  - 小三 高岡 吉清（湾小）
  - 小四 西島 礼朗（湾小）
  - 小五 久保 海斗（坂嶺小）
  - 小六 濱崎 茉甫（志戸桶小）
  - 中一 盛山 円香（第一中）
  - 中二 高野 海夕（第一中）
  - 中三 重野 瑞季（第二中）



喜びの受賞者

喜界町総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会主催第1回スポーツ教室

12月13日（日）午前9時より、喜界町総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会主催の第1回スポーツ教室（幼・小・中・保護者対象）が、町総合グラウンドで開催されました。

スポーツ教室の内容は、ニュースポーツ体験（インディアカ・ペタンク）とサッカー教室です。町内の各幼稚園・小学校・中学校から総勢54名の参加があり、



親子でニュースポーツに汗を流した

児童・生徒はもちろん、保護者の方々も積極的に参加し、汗を流しながら楽しんでいました。多くの方々の要望もあり、次回開催は、2月頃を予定しています。詳細については、各小中学校・幼稚園を通じてお知らせいたします。



スポーツ振興くじ助成事業



あけまして  
おめでとう  
ございます！

今年も、皆さまが元気に健やかに過ごせますよう、スタッフ一同心から願っています。

さて、新年最初のすこやかニュースは、平成21年度の特定健診・特定保健指導のことについてです。



特定健診って？

皆さまもご存じの通り、平成20年度から新しく「特定健診」と「特定保健指導」が始まりました。これは、40歳～75歳未満の方を対象に、病気を未然に防ぐ「早期介入・行動変容（日常生活の悪習慣を改善すること）」を目的とした新しい健

診です。この健診では、病気になる前に「病気になりそうな人」つまり、メタボリックシンドロームと、その予備軍を見つけてくることを主眼としています。なので、検査の基準値が厳しくなっており、今まで健診で引っかかったことがないような方が引っかかるようになりました。「何で自分か？」と思っている方も多いと思います。これは、健診の目的が変わったからだったのです。

ちなみに、**今年度（12月末現在）は、この特定健診を388人の方が受診してくださいました。**

その中で、メタボリックシンドロームと判定された方は**26人**、メタボリックシンドローム予備軍と判定された方は**88人**でした。これは、健診を受けてくださった方の3人に1人が「病気になりそうな人」だったということなのです。



特定保健指導って？

特定健診で、メタボリックシンドロームとその予備軍と判定された方には、生活習慣を見直していただくことを目的に特定保健指導を行っています。**今年度（12月末現在）は、22人の方が特定保健指導に参加して下さっています。**

特定保健指導では、まず初回の面接を行って、メタボリックシンドロームについて勉強したり、生活習慣改善のために、自分ができることを考えていたりしていただきます。その後は、基本的には、ご自分で生活習慣の改善に取り組んでいただいて、6ヶ月後に最終評価をすることになっていきます。



がんばってます！

今回、参加されている方数名の中間評価の結果では、開始から約3ヶ月で、**おなか周りが**

平均で**4.8cm**ほど、**体重は、平均で2.5kg**ほど減少がみられました。がんばっていらっしゃる結果が着実に現れてきています。

皆さんにお話を伺うと、どうやら特別なことはしていないようです。今までより、少し多めに野菜を食べるようになったとか、夜の間食をやめたとか、ウォーキングやサイクリングを始めたといったことの結果のようです。

無理をせず、自分のできるところから！楽しみながら！というのが長続きの秘訣なのかもしれません。「変えたいと思っていた悪い生活習慣を、特定保健指導がきっかけで変えることができました」とおっしゃってくださる方もおり、私たちスタッフも特定保健指導に携わることができて良かったなと思っています。

これを読んでくださっている皆さんも、**新年をきっかけにご自分の生活習慣を見直してみませんか？**

3歳児健診でむし歯ゼロだったよ！



上地 琉喜くん



永井 芹奈ちゃん



南 悠仁くん



森園 拓斗くん



# 平成 22 年度保育所入所の申込について

【対象児】 ひまわり第一保育園：小学校就学前の児童

ひまわり第二保育園：小学校就学前の児童

【受付期間】 平成 22 年 1 月 19 日（火）～1 月 21 日（木）3 日間

【受付時間】 午前 9：00～午後 5：00

【受付場所】 喜界町役場・保健福祉課（窓口）

【申込用紙】 ひまわり第一・第二保育園、保健福祉課（窓口）

【入所基準】 ①居宅外で労働することを常態としていること。

②居宅内で当該児童と離れて日常の家事以外の労働をすることを常態としていること。

③母親が出産の前後、病気、負傷、心身に障害がある場合。

④死亡、行方不明、拘禁などの理由により親がいない家庭の場合。

⑤家庭に長期にわたる病人や心身の障害のある人があり、親が常時看護にあっている場合。

⑥地震、風水害、火災、その他の災害の復旧に当たっていること。



## 【保育園紹介】

保育園名	ひまわり第一保育園	ひまわり第二保育園
設立	2008 年 4 月 1 日	2008 年 4 月 1 日
所在地	鹿児島県大島郡喜界町灣 1794 番地	鹿児島県大島郡喜界町早町 498 番地
定員	90 名	30 名
対象児	小学校就学前の児童	小学校就学前の児童
職員構成	園長、主任、保育士、栄養士、調理員	主任、保育士、調理員
開所日	休日、日曜日、祝日 12 月 29 日から翌年の 1 月 3 日までの日 保育終了から翌年度の入園日までの間 2 日を除いた日	
保育時間	午前 8 時 30 分～午後 6 時 ※ただし、午後 6 時～午後 7 時までの 1 時間は、延長保育になりますので、延長保育料金が加算されます。	
保育料	保育所徴収金額表（前年度分の市町村民税、所得税課税の額の区分 7 階層）により決定	
保育方針	○心身の健康の基礎を培う。 ○自主、自立及び協調性の態度を養い、道徳性の芽生えを培う。 ○生命、自然及び社会の事象についての興味や関心を育て、思考性の芽生えを培う。 ○言葉の豊かさを培う。 ○豊かな感性や表現力を育み、創造性の芽生えを培う。 【めざす子ども像】 ○元気な子ども ○明るい子ども ○思いやりのある子ども	
年間行事	☆毎月行う行事 避難訓練（年 2 回総合訓練）、身体測定、誕生会 ☆その他、主な行事 七夕、七五三、運動会、遠足、発表会、餅つき、クリスマス会、節分、ひなまつり等	
健康診断	内科検診（年 2 回）、歯科検診（年 1 回）、検尿、蛭虫検査（年 1 回）	

☆保育参観は保護者の都合に合わせて随時行います。

☆ひまわり第一保育園では、子育て支援として毎週月曜日～金曜日の午前中にふれあい教室を行なっています。場所は、子育て支援センター（保育園に隣接しています）

**※詳しくは保健福祉課（☎ 65 - 1111）へお尋ねください。**



# 2010年 世界農林業センサス

(平成 22 年 2 月 1 日実施)

農林業センサスは、我が国の農林業の生産構造や就業構造、農山村地域の実態を明らかにすることを目的に5年ごとに実施している大切な調査です。

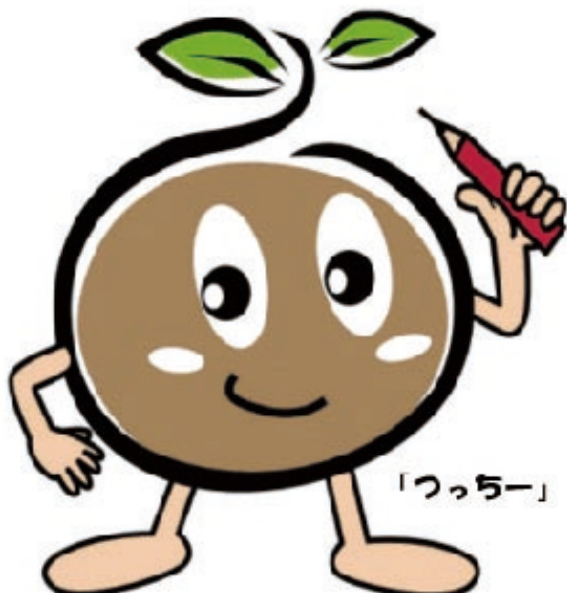
農林業センサスには農林業の経営主に経営の現状をお聞きする「農林業経営体調査」と市区町村と農業集落の代表者など地域の実情に精通している方に農山村地域の現状をお聞きする「農山村地域調査」の2つの調査があります。

## 農林業経営体調査

### どうやって調査するの？

農業や林業を行っている農家・林家や法人などを対象とした調査で、都道府県知事から任命された統計調査員が訪問し、調査対象となる条件を満たしているかお伺いします。

調査の対象となった場合は調査票をお渡しし、ご記入いただきます。



### どんなことを調べるの？

- ・世帯員の構成と就業状況
- ・農地、山林の所有と利用状況
- ・農林産物の生産販売の状況
- ・農業・林業の労働力
- ・農作業受託の状況                   などを調査します。

### どんなことに利用されるの？

農林行政の企画・立案や中・長期的な国土利用計画や経済計画の策定、地方交付税の算出のための基礎資料として利用されます。

いま  
農林業の現状を知り、未来へつなげる為の大切な調査です。  
ご協力をお願いします！      農林水産省・鹿児島県・喜界町

”誇らしげに晴れ晴れと決意新た”  
**新成人102人が新たな人生の門出**



新成人 102人が新たな決意を胸に刻んだ

平成22年度喜界町成人式が1月2日、自然休養村管理センターで開催された。  
 式典の実行委員長を務めた井上隆さん（城久）は「（新成人は）目標に向かって勉強する者、すでに一家の主として家族を養っている者、色々だと思いません。成人になり、権利と義務を得て、行動の結果に責任を持たなければなりません。皆さんの活躍を期待します」とあいさつした。  
 式辞のあいさつで加藤啓雄町長は「ご両親や家族、地域への感謝を忘れ

ず、いつまでもこの島を愛してください。責任を自覚し、次代を担うべく頑張ってください」と励ました。  
 新成人としての抱負では、榮智奈美さん（上嘉鉄）と秋月一成さん（小野津）が、これまでの感謝とこれからの決意を述べ

た。  
 なお、式典に先立ち、豊愛さん（喜高3年）による島唄『朝花節』、長島稔さんによる自作曲『日食』の披露と「新成人へのメッセージ」、喜界町の近況を紹介したビデオの上映などもあった。

榮 智奈美さん（二中代表）

今日まで育ててくれた両親や地域の方に感謝します。美容師の国家試験に向けて取り組んでおり、同じ集落の美沢将先輩の活躍は励みになっています。夢を実現するためにお互い頑張りましょう。

秋月 一成さん（早中代表）

陸上自衛隊に入り、はや2年になろうとしています。厳しい状況でも決してあきらめず、今後も上を目指して日々を大事にします。進む道は違っても、島を忘れず夢に向けて頑張りましょう。

**スポーツフェスタ in 早町 ～町商工会青年部が開催～**



盛り上がったドッジボール大会

商工会青年部（久山忍部長）は12月6日、スポーツフェスタ in 早町を塩道長浜公園で開催した。  
 このイベントはドッジボール大会を中心に、同女性部も協力してチャリティー餅つき大会（収益は町教委へ寄付）など色々なイベントも併せて行われた。

ドッジボール大会は各小学校から16チームが参加し、ボールをキャッチしたりドッジ（避ける）するごとに、応援の父母や教師らは大きな声援を送っていた。

今回は「はたらく車はチビッコたちのあこがれ。直に触れてもらいたい」（久山部長）と土木フェスタも開催。子どもらは初めて間近に見る重機などの建設・農業機械を、関係者の手を借りながら楽しそうに操作した。

ベールグリッパ（刈り取った牧草の運搬車）を操作した麓妃奈子さん（湾小3年）は「むずかしかったけど、動かし方が分かって楽しかった」と話した。



土木フェスタもチビッコに大好評

**喜界島が誇るおっさんバンド**  
**ダートワン LIVE**

**1月30日(土)** 開場 19:00 開演 20:00  
 前売券：1,000円（1ドリンク付） 問合せ先：サバニ tel:0997-65-0930

絶賛発売中



# 喜界歌壇

## 〈ミーニシ会〉

痛み疲れ心乾きし冬の宵は我が作る歌まとまらずおり

島遊び嫁帰省せり常作る島料理にて心通わす

花びらの形を保つ小さき貝乾きで砂に白く戯る

野良帰り乾く喉を鳴らしつつ釣瓶より水飲みし昔よ

古き世の床しき調島唄は乾きし  
我が心に沁みる

戦後の日かわける砂に水の沁む  
思いで書物読みし明け暮れ

時おりの風にはほろほろ散りばう  
る乾きし落葉地に這いて舞う

林 蓮香  
武田 幸子

## 〈萌葉会〉

歌の師の励ます文の温もりに心の扉開けて詠めり

今はもう使うことないケータイのメール見たくて充電をする

徳 成寿

豊島 瞳

## 戸籍の窓

こんにちは  
赤ちゃん

氏名	住所
吉永 瑞喜	大祐 荒木
正木 愛輝	浩太 中里
森田 瀨里南	和人 荒木
岡本 真翔	秀明 中里

いつまでも  
お幸せに

氏名	住所
穂積 鉄也	中 湾
久永 千恵	小野 津
佐々木 隆憲	小野 津
上野 なつ香	小野 津

春里 一男  
上嘉 鉄

宮島 寿麻  
中 間

志戸 桶  
中 間

大朝 戸  
西村 秀子

志戸 桶  
浜崎 博明

島 中  
大倉 とみ

志戸 桶  
上岡 もと

早 町  
峰山 松代

赤 連  
山口 ヨネ

坂 嶺  
友次郎

## 社協だより

### ■香典返し(敬称略)

上 嘉 鉄	原口 貞亮
鹿兒島在住	美島 伊津子
坂 嶺 出身	大 朝 戸
志 戸 桶	西村 詔二
志 戸 桶	浜崎 紀子
志 戸 桶	上岡 一三
坂 嶺 体岡	光 子

島 中 大倉 米二  
早 町 峰山 常功  
赤 連 山口 博光  
荒 木 久保 ミネ

■寄付金(敬称略)  
一中28年卒同期会  
代表 開 悦夫

### ふるさと寄付者(敬称略)

京都府 金井 清治  
東京都 徳田 恵子  
兵庫県 富田 五十一

税で創る、あかるい未来  
1月末は  
国民健康保険税5期分  
の納期限です。  
納期限内に必ず納めましょう。

### 喜界町の推計人口

(平成22年1月1日現在)

世帯数	3,734戸	(0)
人口	8,153人	(8)
男	3,924人	(3)
女	4,229人	(5)

( )は前月比



# dokidoki LIVE TOUR

LIVEでRUN 走ってみせます42.195km x ?

1月19日(火) 開場 19:00 開演 20:00

前売券: 2,000円 (1ドリンク付)  
当日券: 2,500円 (1ドリンク別)



問合せ先: サバニ  
tel:0997-65-0930

<http://www.office-sabani.com/>

## キダチアロエ

**ア**フリカ南部およびマダガスカル島が原産でアロエ科アロエ属の多肉植物。ユリ科に分類する場合もある。食用として栽培されるアロエベラ以外のアロエ属は、絶滅のおそれのある野生動物の国際取引を禁止したワシントン条約によって保護されている。

写真のキダチアロエは島で普通に見ることができ、ゼリー状の葉はアロエベラ同様に食用となる。その食感から刺身、あるいはヨーグルトに入れて食される。また、「医者いらず」の別名のとおり、内服薬として健胃整腸・歯痛止め・二日酔い止め、外用薬として切り傷・やけど・シミ・そばかすなどに効果があるとされる万能薬である。

花ことばは「復活」。



## サツマイモ

**中**米および南米北部が原産でヒルガオ科サツマイモ属の多年草。

中国から琉球を経て薩摩に入ったため、沖縄・鹿児島を始め九州以南では「カライモ（唐芋）」、本州・四国以北では「サツマイモ」と、移入元の地名で呼ばれる。ただ、奄美では琉球から移入したにもかかわらず「サツマイモ」と呼ばれる。ここでも、琉球と薩摩に挟まれた奄美の微妙な立ち位置がうかがわれる。単に、移入当初は島それぞれの方言が一般的であり、近年になって“標準語”の「サツマイモ」が普及しただけかもしれないが。

沖縄ではシマユミタで田芋を指す「ウム」と呼ばれるが、移入当初は移入元の福建省（福建語）の呼び名である「蕃薯（ハンズ）」と呼ばれた（北京語が公用語の台湾でも「ハンズ」）。なお、他の奄美の島々では、奄美大島「トン」、徳之島「ハンシン」、沖永良部「ウム（芋類全般）」、与論「ウン（芋類全般）」と呼ばれる。沖縄から最も離れた喜界島で「ハンスー」の呼び名が残っていることが興味深い。

長崎県・対馬では、飢饉時に食糧難から島民を救ったこと、また、親芋の下にできる子芋は成長しても親芋より上には伸びないことから「孝行芋」と呼ばれる。この島でもまさしく孝行芋であり、やせた土地でもよく育つハンスーは、戦前はもちろん戦後の食糧難の際には「救荒作物」というより、「主食」として島民の食生活を支え続けた。

種子島や鹿児島では、芋焼酎やデンプンの原材料、青果用として栽培しており、島でのサトウキビと同様に基幹作物である。したがって、サツマイモに深刻な被害を与えるアリモドキゾウムシが生息する喜界島からは、種子島以北へのサツマイモの持ち出しが法律により禁止されている（本誌10ページも参照）。



## ダンドク（檀特）

**カ**リブ諸島が原産でカンナ科カンナ属の多年草。世界各地に品種改良された園芸種が広まっており「カンナ」もその一種（本誌2009年7月号参照）。日本には江戸時代に移入し、各地で園芸種が栽培されているが、奄美・沖縄で自生するのは原種である。写真に見える緑の実が熟せば、黒くて丸い重みのある種がこぼれ落ちる。

花ことばは「妄想」「快活」。

